

パナソニック

岩田進裕さん

コネクティッドソリューションズ社 イノベーションセンター アクチュエーション事業統括部設計ソリューション開発部 主幹/技術総括

1991年4月、松下電器産業(株)(現パナソニック)入社。CAE技術者として多くの開発支援業務を経験。2012年から2018年まで部長を担当し、現在は技術総括(技術責任者)としてNEXT技術開発、新規ソリューション開発、CAE外販などに従事する。

ノンフィクション04

弛まぬ自己研鑽と ネットワークづくりの 大切さ

Yukihiro Iwata

「これまで私がしてきた仕事を振り返ると、自
助努力だけでなく、キーマンと呼べるようなパー
トナーがいて、その人と協力しあってWin-Win関
係を築けたときに成功しています。そういう人が
いないときは、あまり成功はしていません」。こ
う語るのは、日本を代表する解析(以下、CAE)技
術者の1人であるパナソニックコネクティッドソ
リューションズ社の岩田進裕さんである。

現在は同社イノベーションセンター アクチュ
エーション事業統括部設計ソリューション開発部
で40数人のCAE技術者を率いる技術責任者(技術
総括)の立場にある。従来、同組織の業務はパナ
ソニックの各事業部に対してCAE技術などによ
る開発支援を行うことであったが、2018年4月か
らはパナソニックだけでなく、広く社外の企業に
対しても開発支援サービスを始めている。

岩田さんのCAE、システム開発との出会いは学
生時代に遡る。専門は機構系CAEで、ウォーター
ジェットやウォーターハンマーの研究に取り組ん
だ。「今はよいCAEソフトが市販されているので、
それらのソフトを使うのが普通になりましたが、
私が学生の頃はまだそれができなかったため、ソ
フトを自作しました。まったくのゼロからのスタ
ートでしたが、CAEそしてプログラム開発の基礎
を学べたことは後になってとても役立ちました」
と岩田さん。

短期間のうちに 失敗と成功を経験

パナソニックに入社後は、VTRテープ走行系設
計CADの開発でシステム開発を経験したのをは
じめ、電子写真の現像プロセス開発で電気系CAE
を、インクジェットヘッド構造の検討で構造CAE
をそれぞれ経験するなど、機構系以外にも数々の
CAEやシステム開発を経験した。中でも印象に残
る開発支援業務がいくつかある。初めて自身で提
案したテーマである「落下CAE」もその1つであ
る。

「入社から数年後のことですが、上司の理解も
あって、ハードウェアとソフトウェアに当時とし
ては高額な投資をしてもらいました。光ピックアップ
耐衝撃設計などに活用でき、私としてもよい
勉強になりましたが、ノートPCの開発に活用す
る際、時間がかかりすぎて事業部の役に立てず、
当時の事業部研究所のセンター長からさんざん叱
られました。しかし、半年後には同じく当時の外
装設計部長からリベンジの機会を与えてもらい、
最後は感謝までされるなど、短期間のうちに失敗
と成功の両方を経験しました」

HD(ハイビジョン)ムービーの熱設計も印象に
残るプロジェクトである。「2006年春にパナソ
ニックとして初めて小型HDムービーを発売するこ